

阿 蘇 山

火山活動度レベル

本日(20日)11時に、火山活動度レベルを2(やや活発な火山活動)から1(静穏な火山活動)に引き下げました。

概 況

阿蘇山では、昨年11月8日以降、湯だまりの表面温度は60前後のやや低い状態で経過し、火山性連続微動の振幅は時々大きくなりましたが、12月21日以降小さい状態で経過しています。また、今年1月17日に実施した現地観測では、火口内での土砂噴出の発生もなく、表面温度にも変化がないことから、噴火の可能性は低く、火山活動は静穏な状態になったと判断されます。しかし、今後も火口付近では引き続き火山ガスに対する注意が必要です。

噴煙活動の状況(図1)

昨年4月以降、噴煙は白色・少量で噴煙の高さは概ね400mで推移し、その最高は700m(2005年6月)でした。噴煙の状況に変化は認められませんでした。

地震・微動活動の状況(図1、図3)

昨年4月14日のごく小規模な噴火以降、火山性微動の振幅は時々大きくなりましたが、12月21日以降振幅は小さい状態が続いています。

火山性地震や孤立型微動の発生回数には大きな変化はありません。

火口や噴気地帯の状況(図2)

中岳第一火口の湯だまりの表面温度は70を超える日があるなど、高い状態で経過していましたが、昨年11月8日以降表面温度は60前後とやや低くなっています。また、5月31日から観測されていた火口底の赤熱現象は、湯だまり量の増加により、9月8日以降、観測されなくなりました。

湯だまり量は、6月には約1割まで減少しました。その後は、降水により増減を繰り返していましたが、11月8日以降約8割で経過しています。また、湯だまり内で、高さ1~5mの土砂噴出が継続して発生していましたが、9月8日以降観測されなくなりました。

(温度測定は、赤外放射温度計による)

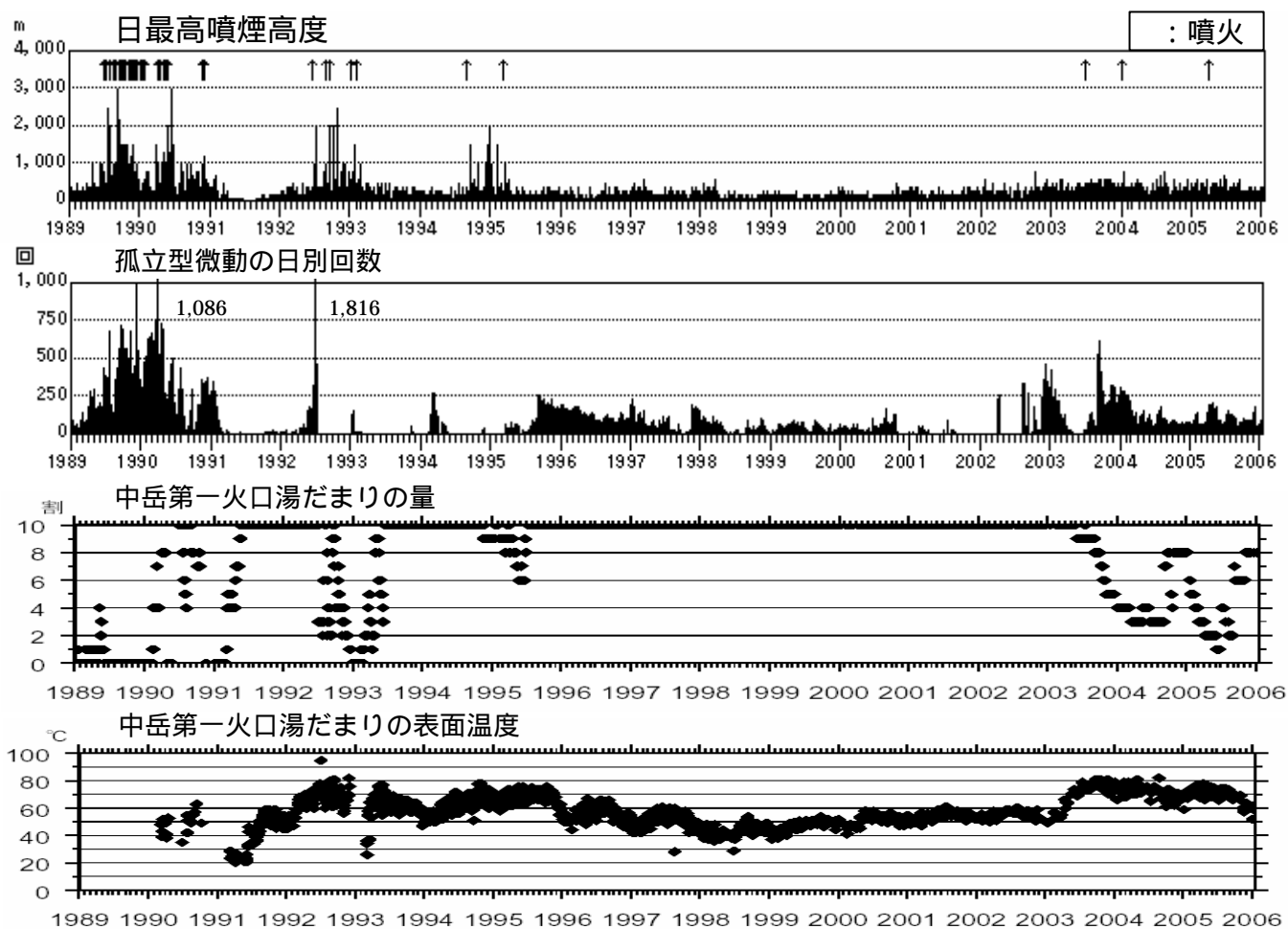
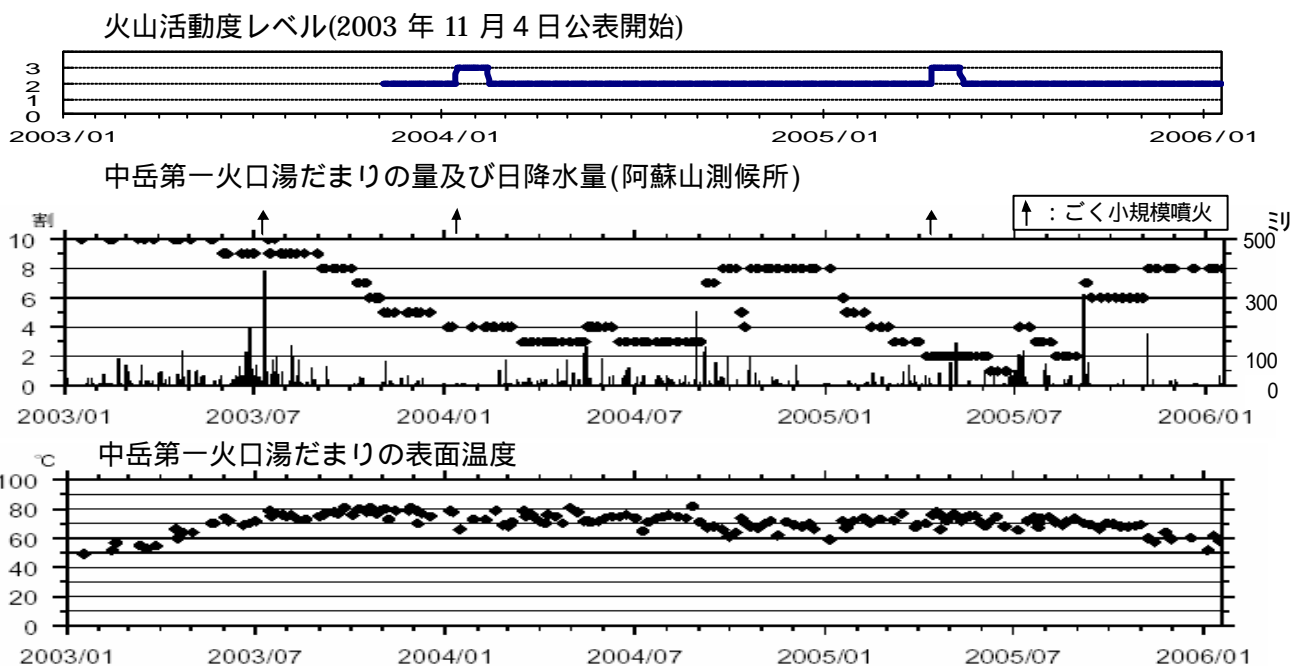


図 1 火山活動経過図(1989 年 1 月 1 日 ~ 2006 年 1 月 17 日)



阿蘇山 図 2 火山活動経過図(2003 年 1 月 1 日 ~ 2006 年 1 月 17 日)

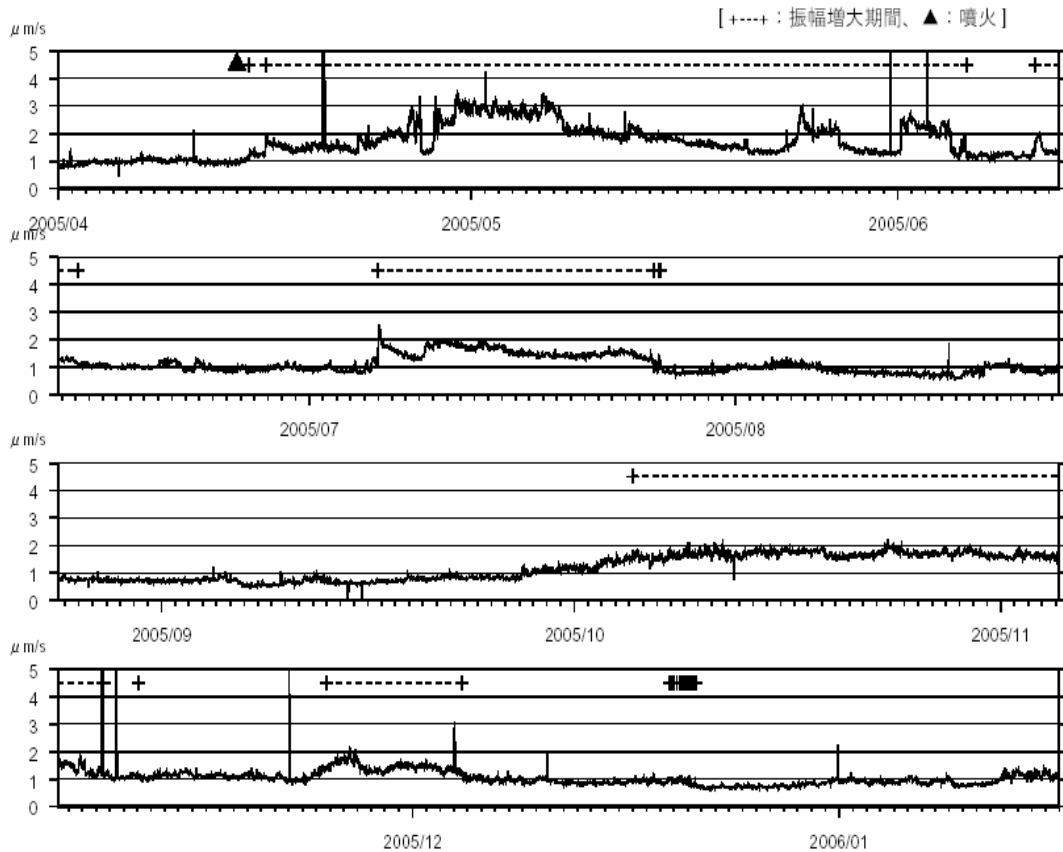


図3 30 分間平均振幅の時間変化(A 点南北成分)(2005 年 4 月 1 日～2006 年 1 月 17 日)
 2005 年 4 月以降、火山性微動の振幅は時々大きくなりましたが、12 月 21 日以降は小さな状態が続いています。

参考

- ・昨年 4 月 14 日にごく小規模な噴火が発生し、レベル 2 (やや活発な火山活動) からレベル 3 (小規模噴火の発生または可能性) に引き上げ、その後 5 月 13 日にレベル 2 に引き下げて以降は、レベル 2 で経過している。
- ・2003 年 11 月 4 日に火山活動度レベルを導入した時点では「レベル 2」で始まった。以後、レベル 1 になったのは今回が初めてである。
- ・赤熱現象は昨年 5 月 31 日から 9 月 3 日まで、土砂噴出は昨年 1 月 28 日から 9 月 2 日まで観測されたが、降水により湯だまりの量が増加し、9 月 8 日以降観測されなくなった。